

平成29年第4回定例(12月)議会の概要



中津市議会議員 大塚正俊



中津市議会



第4回定例市議会(12月議会)は、11月27日から12月21日の25日間開催されました。

平成29年度一般会計補正予算等の予算議案9件、条例議案14件、議員提案条例議案1件、その他議案8件、人事案件3件、報告案件1件、意見書2件、決議1件計39件を審議し、議員提案条例議案1件を除き原案通り可決しました。

なお、継続審査となっていた平成28年度一般会計決算の認定等14件を認定しました。

平成29年12月定例市議会一般質問



1. 人口減少時代の土地政策

- ①空き家の実態、空き家のデータベース化と情報の公開
- ②空き家、空き地の有効活用による行政コストの縮減
- ③空き家バンク制度の導入と空き家改修補助制度の創設

2. 北部小、大幡小学校の教室不足の解消に向けて

- ①人口推計と児童数の推移、普通・特別教室の不足数の推移
- ②校舎の増設計画
- ③大幡幼稚園の園舎改修計画
- ④北部幼稚園の園舎建替え工事と跡地利用について
- ⑤北部小の放課後児童クラブ「トトロ」の教室の確保

3. 発達障害児の早期発見と個別支援

- ①早期発見に向けた取り組みと支援チームの組織化
- ②個別指導等の支援策と発達障害支援センターの設置

4. 子ども医療費の無償化に向けて

- ①必要な財源の試算と自治体間の不公平の是正

平成29年12月定例市議会で決まったこと。【抜粋】

1. 平成29年度一般会計補正予算；補正額2億135万円 (補正後予算額439億3,711万円)

□テレビ会議システム導入事業；約702万円

- ・本庁、各支所、消防本部、上下水道部、市民病院（計8か所）にテレビ会議システムの導入を行い災害時等に活用する。

□公衆無線LAN環境構築事業；約883万円

- ・災害時にも情報を効果的に受発信することができるように、公衆無線LAN（Wi-Fi）を本庁、各支所に配置する。
 - ・次年度以降、体育館や公民館、文化財施設等にも整備予定。
- ※図書館にも整備するよう要請しました。



□私立保育所運営事業；約1億9,235万円

・私立保育園の公定単価の見直し、保育士の処遇改善のための経費

技能・経験に応じた保育士等の処遇改善について(処遇改善加算Ⅱ)

目的・趣旨

平成29年度から実施する「技能・経験に応じた処遇改善」は、新たに副主任保育士など中堅の役職を創設し、その職務・職責に応じた処遇改善を行うことにより、保育園等におけるキャリアアップの仕組みを構築するもの

- 月額4万円の加算対象…副主任保育士、中核リーダー等
(経験年数概ね7年以上の者を想定しており、施設の職員数の概ね1/3が対象)
- 月額5千円の加算対象…職務分野別リーダー、若手リーダー等
(経験年数概ね3年以上の者を想定しており、施設の職員数の概ね1/5が対象)

※経験年数は概ねの目安であり、各施設の職員構成等に応じて柔軟に対象者を定めることが可能

加算対象者

- 加算対象人数…定員・利用児童数・各種加算状況によって決まる。
- 対象者の決定…各園は加算対象人数から、処遇改善を行う対象者の決定を行う。

※月額4万円の加算については、その対象人数の1/2には確実に4万円の処遇改善を行ったうえで、その他職員に月額5千円以上4万円未満の範囲で配分することが可能

中津市の状況

	加算申請 施設数	常勤 職員数	処遇改善加算Ⅱ対象職員数		
			副主任保育士	配分人数 (予定)	職務分野別 リーダー
保育所	18	302	92	140	56
認定こども園	6	119	41	57	26
小規模保育事業	1	5	2	5	1
合計	25	426	135	202	83

□繁殖雌牛基盤拡大対策事業；175万円

- ・ 耶馬溪、山国地域における「おおいた豊後牛」の生産基盤の強化を図るため、繁殖雌牛の増頭に要する経費を補助
- ・ 7万円／頭×25頭分



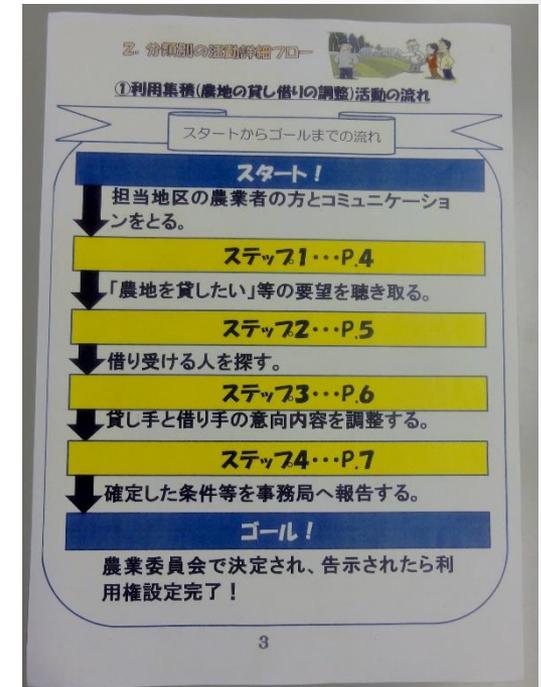
□要・準要保護児童援助事業；約694万円

- ・ 就学援助を受けている児童・生徒の新入学学用品費の支給単価引き上げに伴う増額
- ・ 小学生20,470円⇒40,600円、中学生23,550円⇒47,400円 約250名分

□農業委員会管理事業；約205万円

- ・農地利用最適化を推進する農業委員15名、農地利用最適化推進委員23名の報酬の増額

※出来高払い、上限6,000円／月×（38名分）



□水洗化率向上促進事業；180万円

- ・下水道水洗化支援補助金（既存住宅の下水道への繋ぎ込みに係る経費に対する補助；6万円／件）の申請件数増に対応する増額

※当初70件⇒100件

□梨園の災害復旧支援事業；約1,146万円

- ・九州北部豪雨で被災した山国町市平地区の梨園（6戸8か所）の復旧を支援する経費
- ・総事業費；1,374万円
- ・地元負担金；229万円



□庄屋村線（記念橋）橋りょう整備事業；2,500万円

- ・九州北部豪雨災害で被災した山国町庄屋村の記念橋架け替えに要する測量・設計・整備委託料
- ・県の山国川河川改良事業に併せて改良復旧を行う。
- ・延長84.6m、計画幅員3.6m
- ・平成32年度完成予定
- ・総事業費；3億円（市負担額1/2）



2. 条例の一部改正(抜粋)

□小学校の設置に関する条例の一部改正

- ・山移小学校は平成30年3月末をもって廃校とする。
- ※文教経済委員会では、執行部に対して学校の統廃合のあり方について決議をしました。

『小学校の設置に関する条例の一部を改正する条例に対する附帯決議』

学校統廃合については、子どもの教育の問題であることはもちろん、学校が地域の中で果たすべき役割からして「地域づくり」の問題でもあることも重視し、子ども、保護者及び地域の声を尊重するとともに、小規模な学校の教育効果を含め、学校のあり方について十分検討し、透明性、計画性をもって判断すること。

以上、決議する。

中津市議会文教経済委員会



□市議会委員会条例の一部改正

- ・市の機構改革を踏まえて、以下のとおり変更する。

「総務消防委員会」	⇒	「総務企画委員会（7名）」
「文教経済委員会」	⇒	「教育建設委員会（7名）」
「建設農林水産委員会」	⇒	「産業消防委員会（6名）」
「厚生委員会」	⇒	「厚生環境委員会（6名）」

- ・12月より総務企画委員会に所属となりました。

※所管；総務部、企画観光部等の所管に属する
事項を審査、調査します。

□市議会委員会条例の一部改正

- ・タブレット端末の導入による議会のペーパーレス化を目指すため調査・研究を行う。
- ・12月より特別委員会の委員長に就任しました。

3. 損害賠償の額を定めること

□中津市民病院で発生した医療過誤による損害を賠償する
(損害賠償額；1億4,000万円)

- ・市民病院が加入する医師賠償責任保険より全額補てんされる。
- ※私は厚生委員として、再びこのような医療過誤が起こらないよう対策マニュアルを作成するとともに、今後も被害者の子どもに寄り添った対応を行うよう求めました。



4. 人事案件

□中津市議会議長 藤野 英司 (64歳)

- ・市議会議員；4期



□中津市教育委員 中島 陽子 (73歳)

- ・本耶馬溪町地域振興協議会委員
- ・元教員、下毛地区更生保護女性会会長



5. 決議(採択)

- 医療関係機関等の協力を得て、予防医学の拡充及び経済的支援を要する児童・生徒に対する医療費の無償化を実施するとともに、段階的に対象の拡大を行うことを求める決議
 - ・私は、議員間の自由討議の議題として、「子ども医療費の無償化に向けて」を提案しました。
 - ・議員間で自由かつ達な討議を行い、共産党市議3名を除く22名の賛成で決議を採択しました。

※12/21、市長に決議書を提出し、早期実現を求めました。



『医療関係機関等の協力を得て、予防医学の拡充及び経済的支援を要する児童・生徒に対する医療費の無償化を実施するとともに、段階的に対象の拡大を行うことを求める決議』

予防医学の拡充と啓発は、感染症の減少など医療経済効果につながることが明らかとなっている。そこで、健康で元気な子どもを育む地域社会を構築するため、予防接種等の予防医学の拡充を行うことを求める。

また、地域経済の低迷等により世帯間の経済格差が生じ、子どもを持つ世帯を取り巻く環境が厳しくなっている状況下で、医療費の無償化は経済格差是正の観点から手当てが必要となってきた。そのため、医療関係機関等の協力を得て、経済的支援を要する児童・生徒に対して医療費の無償化を実施することを求める。

なお、実施にあたり、医師会、大学の医局等の協力体制の構築、小児救急センター、市民病院、地域の診療施設の医師等の負担がさらに増えないよう医療機関の適正な利用を市民に周知すること。

さらに、中津の子ども達の健やかな育ちを育むため、中津市民病院、小児救急センターの安定的な運営体制を確保した上で、市の財政状況を踏まえて段階的に対象の拡大を行うこと。

以上、決議する。

中津市議会

5. 意見書(採択)

☑労働環境改善のための真の「働き方改革」の実現を求める意見書(採択)

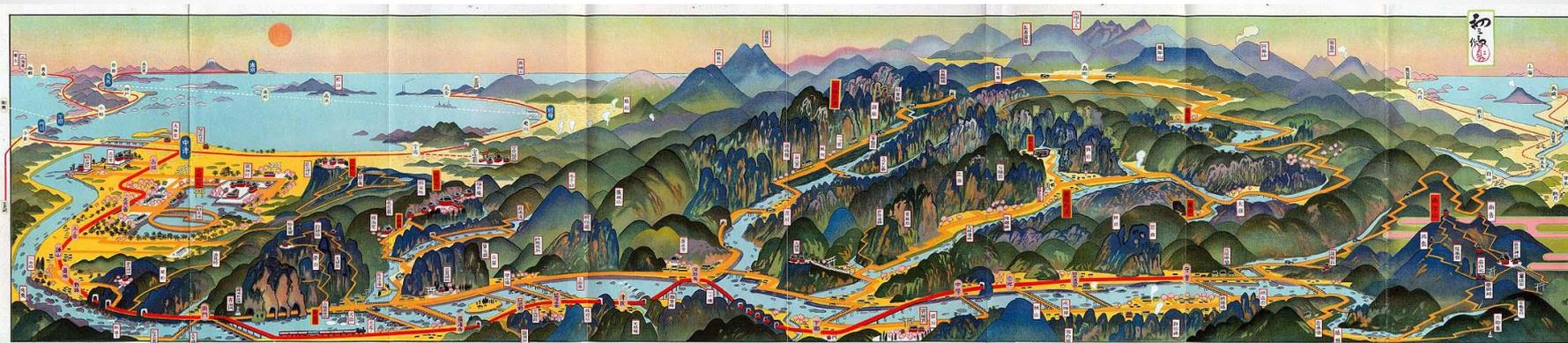
- ・過労死の目安とされる、いわゆる「過労死ライン」の上限規制の導入ではなく、労使協定による時間外労働の上限を1週間15時間、1か月45時間とする「厚生労働大臣告示」を法律へ格上げすること。
- ・すべての労働者の健康と安全を保護するため、EU労働時間指令を参考に、24時間について継続して11時間以上の休息時間を与える「休息時間(勤務間インターバル)規制」の導入を検討すること。

□小中学校におけるプログラミング教育への支援を求める意見書

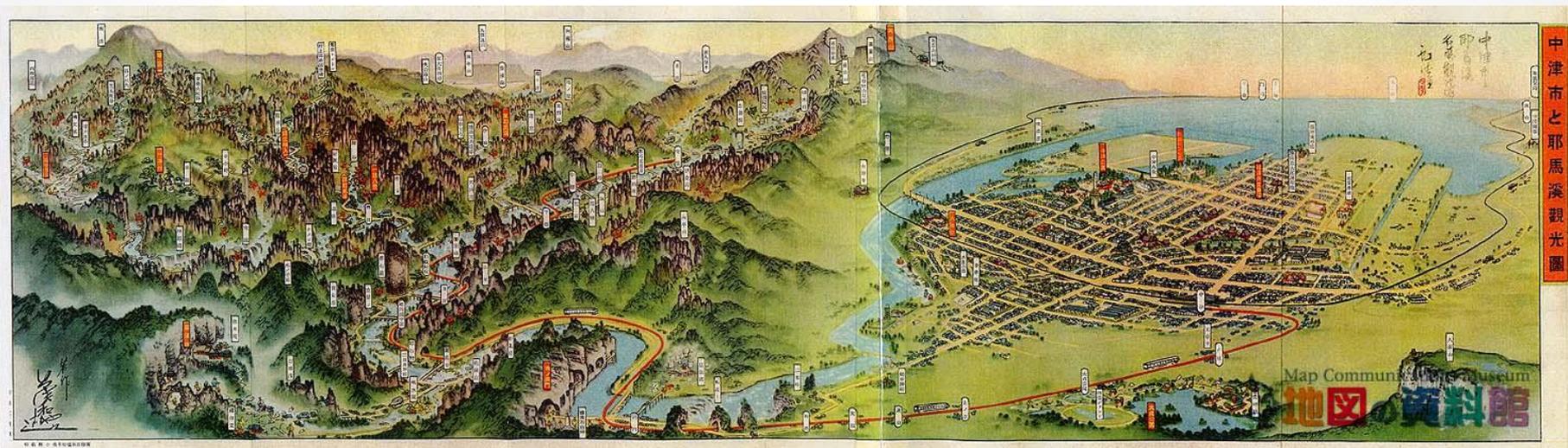
- ・2020年にプログラミング教育が小学校において必修化されることを踏まえ、早期にプログラミングの指導の概要について明らかにすること。
- ・円滑な指導を行うため、自治体間の格差を是正するために必要な財政措置を行うこと。

※☑は私たち党派が提出したもの。

最後まで、お読みいただき
ありがとうございました。



奇勝耶馬「天下無二耶馬全溪の交通図絵」吉田初三郎 画 鳥瞰図サイズ:770×176mm
発行:観光社 大正15年・表面カラー刷/中面1色刷・印刷折本



中津市と耶馬溪名勝観光図「中津市と耶馬溪観光図」前田虹映画 鳥瞰図サイズ:520×155mm
● 発行:中津耶馬溪観光協会 昭和16年・表面カラー刷/裏面1色刷・書簡図絵